

番号	事業名	所管部課	評価			改善内容							2020年3月末時点の改善状況						
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画		2020年3月末時点実績	改善状況	改善に向けた取り組み・成果等	「改善済み」にならなかった理由
														2018年度	2019年度				
5	地域高齢者支援事業	いきいき生活部高齢者福祉課	要改善	<p>改善の主な観点として、第一点目は、市民の方にまず知っていただくことが必要なので、周知方法を工夫していただきたい。市民の方に課題等を認識していただき、本事業を理解していただく必要がある。</p> <p>第二点目、見守り支援ネットワークについては民間のネットワークの状況と、コミュニティの特性を踏まえ施策を展開する必要がある。また、コミュニティの特性を踏まえ施策を展開していただきたい。また、事業の枠組みについて、見守り支援ネットワーク事業、あんしんキーホルダー事業、認知症相談事業のそれぞれが直接的な効果を生み出すことが期待できる。最後に、検討は難しいと思うが、アウトカム的な指標、並びに適切な目標を再検討願いたい。</p>	<p>高齢者見守り支援ネットワーク及びあんしんキーホルダーのサービスを必要とする高齢者と、高齢者を支援する市民の双方に対し、事業内容を効果的に周知できている。</p> <p>高齢者見守り支援ネットワーク及びあんしんキーホルダーのサービスを必要とする高齢者と、高齢者を支援する市民の双方に対し、事業内容を効果的に周知する必要がある。</p> <p>市の関与がなく、地域住民自ら地域の高齢者の見守り活動を行っている地域団体の状況（団体数、規模、活動エリア等）を調査し、高齢者の見守りが行われていない空白の地域を把握する必要がある。</p>	<p>高齢者見守り支援ネットワーク事業やあんしんキーホルダー事業が認知されるよう、事業の内容や課題等の効果的な周知方法を検討し、実施する。</p> <p>（例）現在実施している小中学校等を対象とした認知症サポーター養成講座のプログラムに、高齢者の見守り等についての内容を盛り込んで実施する。</p>	<p>① 効果的な周知方法の検討、周知の実施</p>	<p>① 広報まちだ、市のホームページ、各高齢者支援センターが作成したチラシ等による周知の実施</p>	<p>① より幅広い世代への周知の実施</p>	<p>① 2020年3月</p>	<p>① 効果的な周知方法の検討</p>	<p>①-ア 校長会等における認知症サポーター養成講座の周知</p>	<p>①-イ 地域で開催するお祭り、催し物等における事業の周知</p>	<p>①-ア 校長会等における認知症サポーター養成講座の周知</p>	<p>①-イ 地域で開催するお祭り、催し物等における事業の周知</p>	<p>①-ア 校長会等における認知症サポーター養成講座の周知</p>	<p>改善済み</p>	<p>11月の校長会で認知症サポーター養成講座の周知を実施。小学校3校、中学校5校で認知症サポーター養成講座を開催。</p>	<p>「改善済み」にならなかった理由</p>
												<p>①-ア 高齢者の見守り活動の実態調査の実施</p>	<p>①-イ データベース等への集約・整理</p>	<p>①-ア 既存の見守り支援ネットワークの実態調査と町内会・自治会以外の地域団体による見守り活動の実態調査の実施</p>	<p>改善済み</p>	<p>各高齢者支援センターが把握している高齢者見守り支援ネットワークを行っている自治会・町内会とそれ以外の地域団体の実態を調査した。</p>			
												<p>①-イ データベース等への集約・整理</p>	<p>①-イ データベース等への集約・整理</p>	<p>①-イ 既存の見守り支援ネットワークの実態調査と町内会・自治会以外の地域団体による見守り活動の実態調査の実施</p>	<p>改善済み</p>	<p>上記調査で把握できた高齢者見守り支援ネットワークを行っている自治会・町内会とそれ以外の地域団体をリストにまとめ、マップにおとした。</p>			
												<p>①-ウ 高齢者見守り支援ネットワークの構築に向けた支援の実施</p>	<p>①-ウ データベース等への集約・整理</p>	<p>①-ウ 既存の見守り支援ネットワーク構築に向けた支援の方法についてマニュアルを作成</p>	<p>改善済み</p>	<p>町内会・自治会だけでなく、地域の特性に合わせて多様な団体や個人に見守りの意識を広げるため、事業の目的や支援方法について整理を行い、マニュアルにまとめ、地域に活用していただく。今後はマニュアルに沿って、地域の団体等に対する支援を継続する。</p>			
				<p>① 2018年度からスタートする第7期介護保険事業計画において、各事業のアウトカム（成果）指標として、「キーホルダーの新規登録者数」等を設定した。また、各事業の上位にある基本指標として「在宅維持率」「高齢者支援センターの所在地認知度」「もの忘れが多いと感じるうち、高齢者支援センターを知っている人の割合」を設定した。本計画において設定したアウトカム（成果）指標、アウトカム（成果）指標により、地域高齢者支援事業の進捗評価を行う。</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>① 2019年3月</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>① 設定した指標による事業の進捗評価の実施</p>	<p>改善済み</p>	<p>設定したアウトカム指標・アウトカム指標を年度末に確認し、事業の改善に活用していく。</p>					